

(肝属郡吾平町麓宮ノ上)

位置と環境

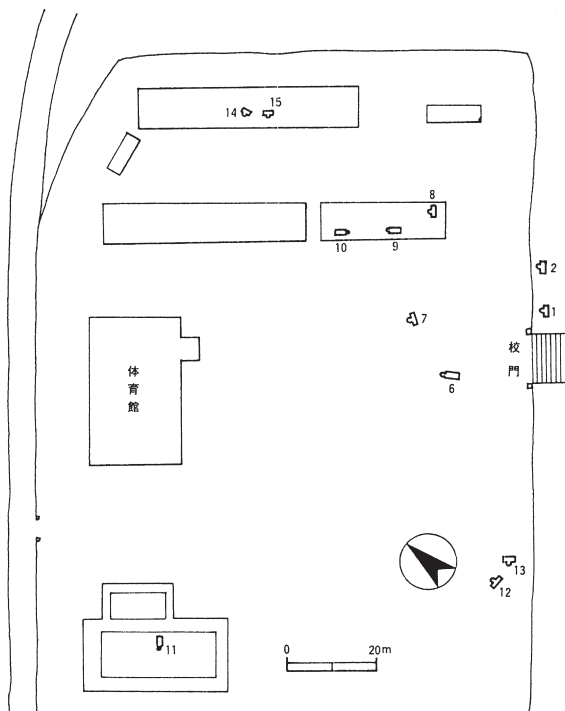
遺跡は吾平町の中心部に位置している吾平小学校の敷地内に所在している。小学校は肝属川の支流の始良川等の中小河川によって発達した小平野を望む標高約40mの台地上に立地している。

調査の経緯

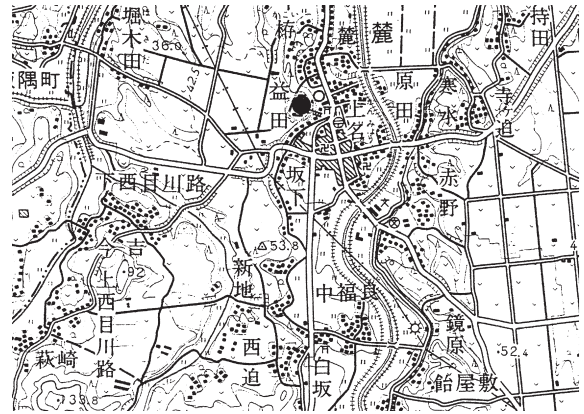
遺跡地内に小学校があるため、校舎等の建造物や運動場の整備等で発見されることが多く、そのたびに様々な研究者や機関によって調査が行われてきた。昭和24年(1949)の東京大学による調査から昭和61年(1986)の町教育委員会による調査まで8次にわたり調査がなされ、現在のところ15基の地下式横穴墓が確認されている。

遺構と遺物

玄室の形態は家形と箱形のものがあり、羨道の取り付けはそれぞれに妻入りと平入りのものがある。また、ドーム形で平入りのものもある。中には軽石製組合石棺をもつものもある。副葬品については別表に示すとおりであるが、このほかにも小学校の敷地から出土したとされる土師器の埴類が町教育委員会に保管されている。



第2図 宮ノ上地下式横穴墓群配置図



第1図 宮ノ上地下式横穴墓群の位置

特徴

単一の墓域内において、様々なタイプの地下式横穴墓が多数調査されている。

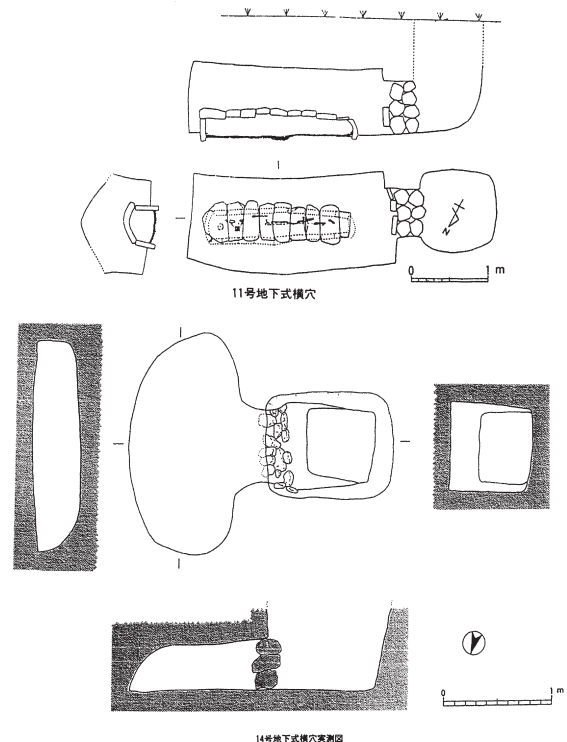
資料の所在

出土遺物は、吾平町教育委員会及び吾平小学校に保管されている。

参考文献

上村俊雄・酒匂義明1972「鹿児島県吾平町新発見の地下式土壇」『考古学ジャーナル』No.67
吾平町教育委員会1987「宮ノ上地下式横穴群」『吾平町埋蔵文化財発掘調査報告書』2

(井ノ上秀文)



第3図 11, 14号地下式横穴墓

第1表 宮ノ上地下式横穴墓群一覧表

	竪穴		羨道		玄室		閉塞	副葬品	発見・調査 年月・場所	文献
	形状	規模(cm)	形状	規模(cm)	形状	規模(cm)				
1		径65, 深100底面より朱痕	平入り			幅200, 奥行不明, 高60, 主軸略東西		朱痕ある鉄片	昭24(校庭)	1
2	長方形	深100	平入り		切妻	東西130, 南北70, 高70, 3方壁面沿いに幅5の溝		—	//	//
3								(破壊)	//	//
4			平入り		蒲鉾型(平坦)	主軸東西, 幅245, 奥行111, 高66, 床面朱痕		人骨体(伸展葬), 直刀1, 鉄鏃1, 鏝1	// (墓地)	//
5			平入り	幅85, 奥行48, 高48	舟形(ドーム, 平坦)	主軸南北, 長245, 幅150, 高66	羨門土塊	人骨1体(伸展葬), 刀2	昭24.5.7(校庭)	2
6			妻入り			主軸東北~北西, 長210, 幅150, 高65		刀子1	昭29.4.14	3
7			平入り			主軸東北~西南, 長200, 幅70, 高60		—	//	//
8			平入り	幅85, 奥行65, 高60		主軸南北, 長240, 幅160, 高65	羨門土塊		//	//
9	円形	径150	妻入り			主軸東西		—	昭29.4.25	//
10		径150	妻入り	幅80, 奥行40, 高60	箱型	主軸南北, 長225, 横200, 高75, 軽石製組合石棺(家形)	羨門土塊3段積み	直刀1, 鏃1, 鉄鏃10, 不明鉄器3	//	2
11	正方形	径100	妻入り	長40, 高70	家形(切妻造)	主軸略東西, 長260, 幅100~120, 高80~90, 軽石製組合石棺(家形)	玄室と羨道境に3枚の軽石(平板)と土塊	刀子1, 鉄鏃, 3人骨1(伸展葬)	昭46.8.19.22	4
12	略円形	径120	平入り	幅100, 高150(推定)	ドーム	主軸東西, 長210, 幅90, 高80		剣片	昭53	5
13									昭42	5
14	長方形	117×96	平入り	幅64, 奥行44, 高50	箱型	幅200, 奥行100, 高44	羨門土塊	刀子1	昭61.6	6
15	長方形	141×85	平入り		箱型	幅214, 奥行85	羨門土塊		昭61.6	6

〈文献6より〉